

授業科目：生活者理解実習	1年次	必修	1単位	45時間	実習
--------------	-----	----	-----	------	----

時間	項目	内容
45	生活者理解実習	様々な看護活動の場で、様々な人の「暮らしぶり」を聞き、多様な生活を捉えると共に、健康・生活・環境の相互作用について考察する。詳細は実習要項参照。
目的：看護の場や対象の多様性を知ると共に、看護の対象が生活者であるという認識をもつ。		
目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の対象である人々の生活の多様性を捉える。 2. 人々の生活と健康・環境は相互に関係し合っていることを理解する。 3. 人々の多様な健康観に触れることを通して、自身の健康観を深める。 4. 看護専門職として、対象を生活者として捉える意義を理解する。 5. 看護専門職を目指す者としての基本的態度を実践する。 		
実務経験のある教員：鹿島 ゆかり 他 看護師としての臨床経験を活かし、学生が対象の生活の多様性、生活と健康・環境は相互に関係し合っていることの理解を深めることを支援する。		
評価方法：評価表を用いて評価を行う		
先修科目：なし		
実習場所：南魚沼市、魚沼市、高齢者福祉施設		

授業科目：日常生活支援実習	1年次	必修	2単位	90時間	実習
---------------	-----	----	-----	------	----

時間	項目	内容
90	日常生活支援実習	詳細は、実習要項参照。
目的：人々の生活の状況や場面に合わせた日常生活支援の基本を習得する。		
目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設が「生活の場」のひとつであるという認識を持ち、利用者一人一人の生活状況が違うという事が分かる。 2. 数人の利用者の生活状況や場面に応じた日常生活援助（環境の調整含む）を安全安楽に実施し、評価する。 3. 利用者の尊厳・安全を守る・生活機能を維持向上するための関わりが分かる。 4. 関係する人々や関係機関の協力があって利用者の生活が保たれていることが分かる。 5. 利用者の生活を守るために専門職として身につける必要があるものが分かる。 6. 看護専門職を目指すものとしての基本的態度を実践する。 		
実務経験のある教員：岡本 亜希 他 看護師としての臨床経験を活かし、学生が人々の生活の状況や場面に合わせた日常生活支援の基本を習得することを支援する。		
評価方法：評価表を用いて評価を行う		
先修科目：なし		
実習場所：高齢者福祉施設		